

群 教 セ	G02 - 02
	平 14.209 集

マルチメディア資料集 「昔の道具調べ」の作成

特別研修員 関口 雅文 (妙義町立妙義小学校)

《研究の概要》

本研究では、小学校第4学年社会科『昔の暮らし』における昔の道具調べで活用できる資料集を作成した。静止画や動画を使って昔の道具を紹介したり、平易な言葉で説明を加えたりすることにより、児童が昔の道具について分かりやすいようにした。主な資料の構成は、遊び道具、生活用品、農具等からなる。特に生活用品では、道具の変遷を分かりやすくしたり、今と昔の道具が比較できたりするように工夫した。

【キーワード：小学校 社会科 昔の道具 マルチメディア資料集】

I 主題設定の理由

『昔の暮らし』の学習では、昔の暮らしに関わる道具を取り上げて、道具の様子や使い方を具体的に調べて、昔の人々の知恵や工夫に気づき、当時の人々が生活の向上を願ってきたことを学ぶ。また、昔と今の道具の違いを調べることを通して、人々の暮らしの様子が変化していることを考えるとともに、現在の自分たちの生活の歴史的背景にも関心を持つことが求められる。

これまでの『昔の暮らし』の学習における昔の道具調べについて振り返ってみると、博物館や資料館などを見学したり、地域のお年寄りから昔の生活の様子について話を聞く機会などを設けたりしてきた。博物館や資料館の見学では、児童は実物を見ながら話を聞いたり、これまで見たことのない道具に触れたりするなど、断片的な知識は得ることができたものの、昔の道具の使い方や工夫、道具の変遷や今と昔の道具との違いなどについては分かりにくかった。また、昔の道具調べのために身近な昔の道具を借りようと家庭に協力を求めてみたが、博物館に寄贈したり処分してしまったりして、昔の道具を借りることはできなかった。そこで、教科書や副読本を中心に学習を進めてみたが、掲載されている資料も少ないことから、児童がこれらの資料から昔の人々の暮らしを想像することは困難であった。また、インターネットで昔の道具に関する情報を探してみたが、探すだけでもかなりの時間がかかってしまった。たとえ探すことができて道具の写真と名前だけの資料が多かったり、例えば道具の使い方の説明があっても語彙や内容が難しかったりするなどして、児童にとって分かりにくい資料が多かった。

このようなことから、児童が、昔の道具の使い方や工夫、道具の変遷や今と昔の道具の違いについて分かりやすい資料集を作成する必要性を感じた。そのために、身近な昔の道具の資料を集め、それらを静止画や動画を使って表すとともに、児童が分かりやすいように平易な言葉で説明を加える。さらに、道具の変遷とくらしの変化の関係が分かりやすいように、昔の道具の中から身近な道具を選び、その変遷を表した資料を作成したり、今と昔の道具の違いと生活の違いが分かるようにすれば、『昔の暮らし』の学習に役立つ資料が作成できると考えた。

本資料集を活用することにより、児童は、昔の道具の使い方や工夫が分かり、それをもとに当時の人々の工夫や知恵に気づくことができる。また、道具の変遷や今と昔の道具の違いについての資料から、くらしの変化や今と昔の生活の違いについても分かりやすくなる。これらの学習活動を行えば、昔の暮らしについて想像しやすいのではないかと考え本主題を設定した。

Ⅱ 研究のねらい

社会科学習『昔の暮らし』の中の昔の道具調べにおいて、児童が当時の人々の工夫や知恵、暮らしの変化について分かりやすいマルチメディア資料集を作成する。

Ⅲ 研究の見通し

社会科学習『昔の暮らし』の中の昔の道具調べにおいて、道具を静止画や動画で表し、それを平易な言葉で説明を付け加えたり、道具の変遷や今と昔の道具の違いについて分かりやすい資料を取り入れたりすれば、昔の道具の使い方や工夫、暮らしの変化、今と昔の生活の違いについて分かりやすい資料集が作成できるであろう。

Ⅳ 研究の内容

1 資料集の概要

(1) 基本的な考え方

本資料は、小学校社会科4年『昔の暮らし』の学習の中で、児童が昔の道具調べをするときに、道具の使い方や工夫、道具の変遷、今と昔の道具の違いについて分かりやすいように以下の点に配慮して作成した。

ア 日常生活と密着した道具を集めた資料集

児童にとって昔の道具は、日常生活の中でほとんど目に触れることがないため、なかなかイメージしにくいものであると考える。このことから児童が昔の道具についてできるだけ親しみやすく身近なものとして捉えることができるように資料集の内容を遊び道具・生活用品・農具等にした。

イ 道具の使い方や工夫が分かる資料集

昔の道具について静止画とその道具の名前だけで表すのではなく、平易な言葉で使い方や工夫について説明を加えた。さらに実際に道具を使っている場面を動画として取り入れることにより、道具について詳しく分かるようにした。

ウ 道具の変遷が分かる資料集

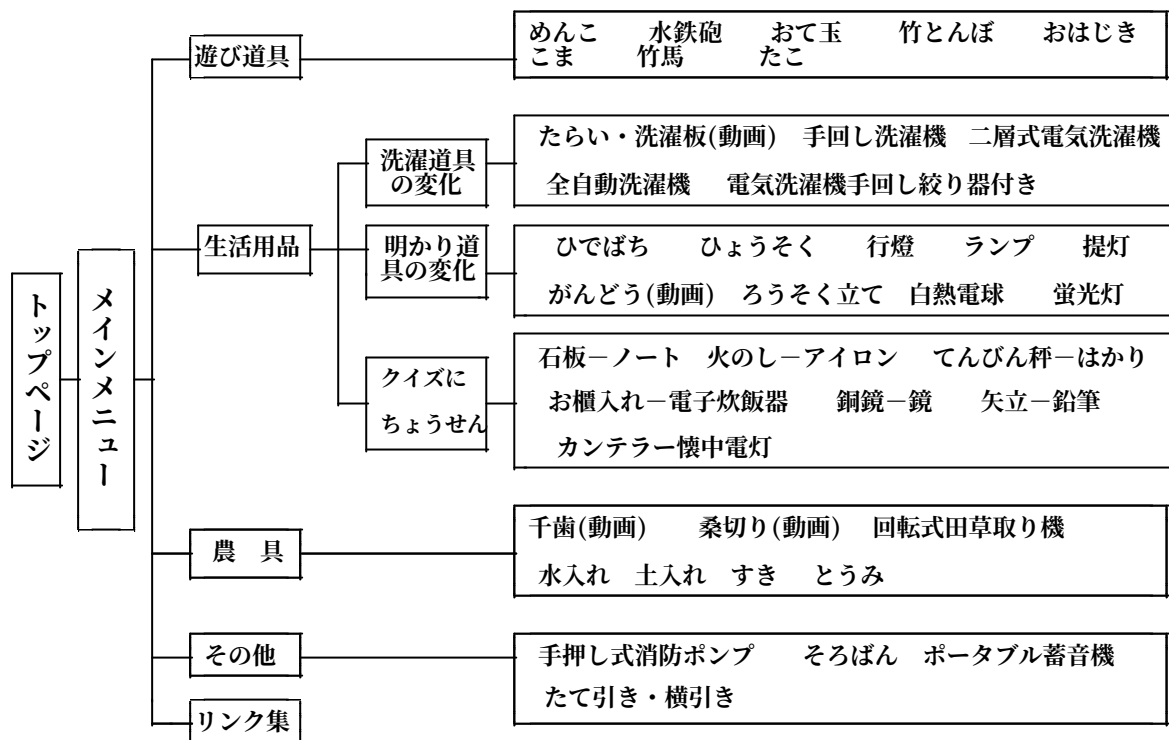
児童が、昔から今までの暮らしの変化の様子について推測しやすいように、昔から今までの身近な生活用品の変遷が分かる資料を作成した。ここでは、洗濯に使われた道具と明かりの道具の変遷について取り上げた。

エ 昔と今の道具の違いが分かる資料集

児童が、昔と今の道具の違いから昔と今の生活の違いや当時の人々の願いについてイメージしやすいように、同じ役割をする昔の道具が今どのような道具になっているのかが分かるページを作成した。また、実際に道具を使っている場面を動画で紹介することにより、昔の人々の知恵や工夫にも気づくことができるようにした。

(2) 資料集の構成

本資料集は、内容を遊び、生活用品、農具、その他、リンク集とし、できるだけ身近な道具を取り入れるようにした。特に「生活用品」のページでは、洗濯道具と明かりの道具を取り上げ、それぞれの道具の移り変わりをもとに生活の変化について学習できるようにした。また、クイズのページでは、昔と今の道具の静止画をランダムに表し、同じ役割をするものを結びつける内容にして、児童が今と昔の道具について比較できるようにした。「昔の道具調べ」の構成は以下の通りである。



2 資料集の内容

(1) メインメニュー (もくじ)

昔のくらしを知る手がかりはたくさんあるが、ここでは、児童が昔の道具を身近なものとして捉えやすいように、遊び道具・生活用品・農具・その他・リンク集の5つに分けた。特に「生活用品」のページをメインに構成した。また、児童が興味・関心を持ったり、調べたい項目が分かりやすいようにイラストで表し、その下にリンクボタンを配置した(図1)。

(2) あそび

児童にとって昔の道具は、日常生活の中でほとんど使われていないため、使い方をイメージさせることが難しい。そこで、昔の道具の中でも、興味・関心が高く、今の道具との関係が捉えやすいと考え、遊び道具を取り上げた(図2)。

玩具店で販売されているおもちゃを見ると明らかにめんこやこま等、昔の遊び道具をモチーフに制作されたものが多数あり、それが児童の間でも大変流行している。このことから、児童は、現在流行しているおもちゃと昔の遊び道具との関連に気づき、昔の道具をより身近なものとして捉えることができると考えた。



図1 メインメニューのページ

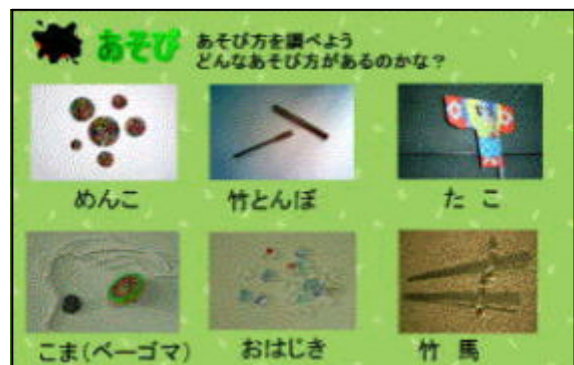


図2 あそび

(3) 生活用品

昔から現在までの身近な生活用品の変遷からくらしの変化の様子を推測し、また理解しやすいように、ここでは洗濯に使われた道具と、明かりの道具の変化について取り上げた。また、同じ役割をする昔と今の道具について形状や使い方・工夫の違いが分かりやすいように、同じ役割をする昔と今の道具をクイズ形式で結びつけるページを設定した（図3）。

ア センたく道具の変化

洗濯道具の変化のページでは、道具の移り変わりが分かりやすいように古い時代の道具から配列し矢印で示した（図4）。また、それぞれの静止画をクリックすると道具の使い方が分かりやすいように、平易な言葉で説明を加えたり道具の使い方を動画で表したページへ移動できるようにした。また、児童が昔の道具と比べて、徐々に今の道具は便利になってきたということばかり印象に残らないように、昔の道具の工夫についても分かるページを作成した。

例えば洗濯板のページでは、洗濯板が表と裏で洗い用とすすぎ用に分かれていて、洗濯板にある「きざみ」の向きを変えることによって、石けん水がたまるようになり（洗い用）、水が流れ落ちるようになり（すすぎ用）する洗濯板の工夫について説明を加えた（図5）。さらに、洗濯板の使い方が分かるように洗濯をしている様子を動画で紹介した。このことにより、児童が、実際に洗濯板を使った洗濯体験の事前学習としても活用できると考えた。

イ 明かりの道具の変化

明かりの道具の移り変わりについても、古い時代から示した（図6）。また、それぞれの静止画をクリックすると道具の使い方が分かりやすいように、平易な言葉で説明を加えたり道具の使い方を動画で表したページへ移動できるようにした。明かりの道具は、今の道具と比べてあまり明るくはないものの、昔の人々の知恵や工夫がある。その中でも、特に道具の工夫について児童が気づきやすいものとして「がんどう」を取り上げた（図7）。

がんどうは、今の道具でいうと懐中電灯と同じ役割をする道具として使われていた。児童ががんどうの工夫してある点に気づきやすいよう



図3 生活用品



図4 センたく道具の変化

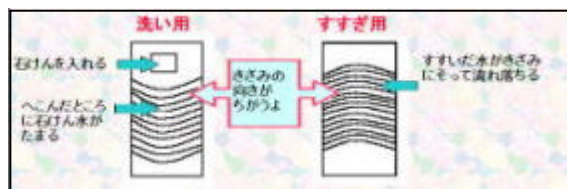


図5 センたく板



図6 明かりの道具の変化

に、様々な角度から風に当てても、ろうそくの炎が消えにくい様子や、どの向きに動かしても、中のろうそくが、必ず垂直に立っている様子が分かるようにがんだうを実際に使っている様子を様々な角度から撮った動画を取り入れた。

このような道具の変化から、家事への負担が楽になってきたことや時間的なゆとりができてきたことばかりでなく、「洗濯板」や「がんだう」の使い方を通して、昔の人々の知恵や工夫にも気づけるように作成した。

ウ クイズにちょうせん

児童が、今と昔の道具の違いについて分かりやすいように、昔の道具を静止画で表し、それと同じ役割をする今の道具は何かを考えるクイズ形式のページを作成した（図8）。ここに載せた道具は、児童がすぐに答えに結びつかないように、今の道具と比べて形状等が違うものにした。そして、児童が答えのページを見たときに驚きを与えるとともに、昔の道具について興味・関心を持てるようにした。

例えば、図8の①の静止画をクリックすると答えのページに移動する（図9）。そして、答えである「ノート」の静止画とともに同じ役割をした昔の道具である「石板(せきばん)」の静止画とその使い方や工夫等の説明を加えた。

このように、答えのページでは、今と昔の道具の違いが分かりやすいように、二つの道具を並べて表示したり、昔の道具の工夫してある点やエピソード、今の道具の便利さについての説明を加えたりした。

(4) 農具

農具は、主に畑や田んぼで使うものを中心に紹介した（図10）。農具は、身の回りの生活道具という点から考えると、児童にとっては身近な道具ではない。しかし、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について調べるためには農具について知ることはとても大切であると考え、できるだけ道具の使い方がわかるようにして紹介した。

また、農具の中で、「千歯こき」と「桑切り」では、地域のお年寄りを講師として招き、その指導のもと、3、4年生の児童が実際に使用している様子を動画で紹介することにより、道具の使い方がより分かりやすいようにした。

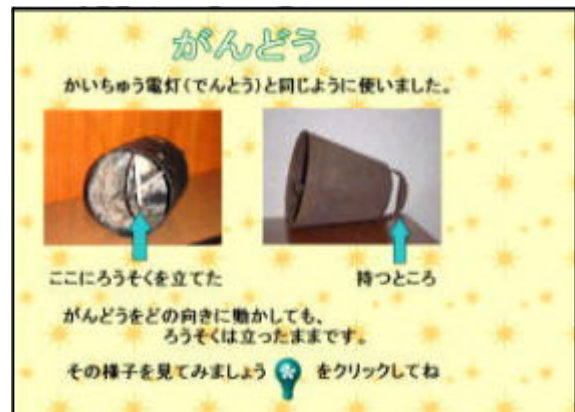


図7 がんだうの使い方

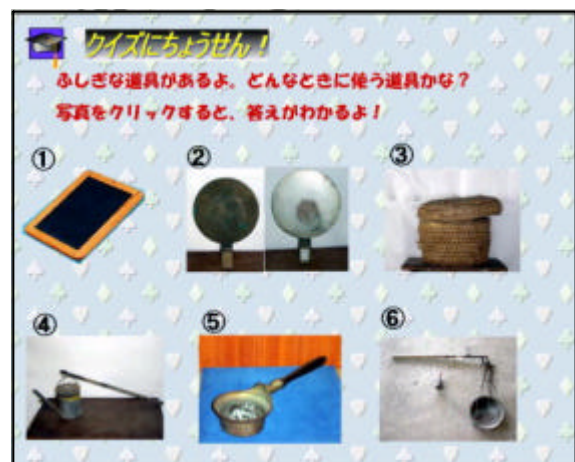


図8 クイズにちょうせん



図9 石板(せきばん)とノート



図10 農具

3 実践の結果と考察

(1) 実践の方法

「昔の暮らし」は、これまで第3学年で扱ってきた学習内容である。しかし、今年度は移行措置のため扱わず、平成15年度から第4学年で扱う内容となる。そこで、実践の方法として、使い方を説明した後、休み時間や放課後等を利用して4年生児童に本資料集を試用させた。

(2) 実践の結果と考察

本資料を試用している児童の様子やアンケート結果から以下のことが分かった。

まず、児童が資料集を試用している様子を見ると、様々なページに移動しながら、興味深く資料を見ていた。これは、資料をできるだけ日常生活と密着した道具にしたり、児童が親しみやすい遊び道具を取り入れたことにより、昔の道具を身近なものとして捉えることができたからだと考えられる。次に、道具の使い方や工夫について、90%以上の児童が、「とても分かりやすかった」と答えている。その理由として、昔の道具について児童が分かりやすい平易な言葉で道具の説明を加えたり、実際に道具を使っている場面を動画として取り入れたりしたからだと考えられる。また、明かりの道具や洗濯道具の変遷のページを見て、「昔の道具は、時間もかかっていたが、徐々に便利になってきたことが分かった」「昔の道具にも、いろいろな工夫がある」「明かりの道具や洗濯道具だけでもいろいろに変化してきている」という感想が多かった。これは、道具の移り変わりが分かりやすいように、道具を古い時代の道具から配列し、それを矢印で示したり、それぞれの道具の説明を加えたりしたことにより、道具の工夫や変遷、それに対するくらしの変化について想像しやすかったからではないかと考えられる。さらに、昔と今の道具で同じ役割をする道具を答えるページでは、90%以上の児童が、「昔の道具と一緒に今の道具も取り上げてあったので比べやすかった」「とてもおもしろかった」と答えている。これは、同じページに昔の道具と今の道具を並べて表示し、昔の道具の工夫やエピソード、今の道具の便利さについて説明を加えたので、それぞれの道具の特徴や違いについて分かりやすかったからではないかと考えられる。

V 研究のまとめと今後の課題

本研究では、児童が昔の道具調べをするときに、道具の使い方や工夫、くらしの変化について分かりやすい資料集の作成をめざした。現在の生活の中では、ほとんど使われることがなく目に触れることもない昔の道具であったが、児童は昔の道具を親しみやすく身近なものとして捉え、集中して学習に取り組むことができた。また、昔の道具を静止画や動画で表し、それを平易な言葉で説明を付け加えたことにより、昔の道具の使い方や工夫がさらに分かりやすくなり、そこから、道具の変遷や今と昔の道具の違いについて考え、昔のくらしについて想像しやすい資料集となった。

今後は、昔の道具についての動画をより多く取り込み、視覚的に捉えさせることにより、昔の道具の工夫や使い方がさらに分かりやすいようにしたり、くらしの変化やくらしの違いについて、様々な角度から想像できるように、食生活に関する道具や暖房に使われた道具の変遷などについての資料等を加えたりしていきたい。

以上のようなことを踏まえて、さらに工夫を加え、『昔の暮らし』の学習のねらいの達成に役立つマルチメディア資料集「昔の道具調べ」にしていきたい。

<参考文献等>

- ・群馬県立歴史博物館（昔の道具の静止画提供）
- ・社会科副読本 「わたしたちの妙義」

妙義町教育委員会